

◆英語運用能力について

	TOEFL (iBT及びComplete Practice Test)	英検	GTEC for STUDENTS
AAA	受験者40名以上かつ上位30名平均72以上	準1級以上30名以上	上位30名の平均が810以上
AA	受験者40名以上かつ上位30名平均42以上72未満	2級以上30名以上	上位30名の平均が675以上809未満
A	受験者40名以上かつ上位30名平均42未満	評価せず	評価せず
B	受験者40名以下かつ平均42以上	評価せず	評価せず
C	上記基準に達せず	評価せず	評価せず

学校	独自取組		外部検定試験							評価	
	主な取組	取組詳細	英語検定合格者(受験者)	TOEIC受験者(最高スコア、平均スコア) 公開：990点満点 IP：990点満点 Bridge：180点満点	TOEFL受験者(最高スコア、平均スコア) iBT：120点満点 ITP Level 1：677点満点 ITP Level 2：500点満点 Junior：900点満点 TOEFL iBT Complete Practice Test	TOEFL合計人数(iBT ITP, Junior, Complete Practice Test) (ibt, Complete Practice Test上位30名平均)	その他	TOEFLに係る評価	英語検定		その他
北野	①「授業を変える」取組の充実 ②英語による講演・大学院留学生との交流会実施 ③「学内留学講座」の実施 ④SETによる独自教材の作成と活用	⑤海外でのフィールドワークの実施(ハワイ研修、シアトル研修、シンガポール研修、台湾研修) ⑥アジア出身の講師によるTOEFL講座(年7回)の実施 ⑦TOEFL iBT Practice Test 実施 ⑧即興型英語ディベートの実践	裏面記載 準1級9名 2級25名 準2級13名 (60名)	公開1名 (最高365)	iBT Complete Practice Test 79名 (最高104 平均50.0)			AA	AA		AA
豊中	①TOEFLコース ②豊高グローバルスタディーズ ③スーパーグローバルセミナー ④英語リスニング講座 ⑤GTEC for Students受験 ⑥TOEFL iBT チャレンジ受験 ⑦英国語学研修旅行	⑧日本文化プレゼンテーション指導 ⑨大阪大学・立命館大学留学生交流 ⑩シンガポールカトリック高校交流 ⑪マレーシア人留学生との交流 ⑫国内留学プログラム成果発表 ⑬英語スピーチ指導 ⑭その他海外研修	裏面記載 準1級7名 2級62名 準2級101名 (189名)		iBT Complete Practice Test 71名 (最高83 平均39.4)		GTEC for STUDENTS 1087名	AA	AA	AA	AA
茨木	①TOEFL iBT Complete Practice Test 実施 ②ディベートを取り入れた英語授業 ③海外修学旅行の取り組み ④大阪大学等留学生との交流	⑤海外の高校生との交流 ⑥「イマージョンプログラム」の実施 ⑦長期留学生の受け入れ	裏面記載 2級106名 準2級92名 (206名)		iBT Complete Practice Test 231名 (最高98 平均36)			AA	AA		AA
大手前	①チャレンジTOEFL iBT ②Focus TOEFL (土曜授業) ③ English Camp ④シンガポール語学研修	⑤オーストラリア海外研修 ⑥英国交流 ⑦英国ケンブリッジ研修	裏面記載		iBT Complete Practice Test 77名 (最高89 平均41.4)		GTEC for STUDENTS 358名	AA		AA	AA
四條畷	①TOEFL iBT チャレンジ講座 ②TOEFL iBT プラクティステスト受験 ③国際交流キャンプ	④英語コミュニケーション集中講座 ⑤オーストラリア研修	裏面記載 準1級1名 2級15名 準2級2名 (30名)		iBT Complete Practice Test 69名 (最高79 平均41)			AA			AA
高津	①「英語コミュニケーション集中講座」の実施 ②外部英語検定試験の受験 ③SSH事業における英語での研究発表		裏面記載 準1級2名 2級107名 準2級197名 (619名)		iBT Complete Practice Test 155名 (最高85 平均44.1)		GTEC for STUDENTS 687名	AA	AA	AAA	AAA
天王寺	①1～3年生文理学科でTOEFL授業 ②Road to GL(国内留学) ③海外研修(英国・台湾・豪州) ④天高アカデミアにおける英語による講義 ⑤第11回全日本高校模擬国連大会参加	⑥サイエンスイングリッシュ ⑦資格試験受験会場実施：実用英語技能検定 ⑧フューチャーグローバルリーダーズキャンプ参加 ⑨海外から高校生を迎えての交流 ⑩AIU米国高校生国際交流プログラム	裏面記載 準1級7名 2級61名 準2級12名 (98名)	公開4名 (最高920 平均768.8)	iBT 4名(最高61 平均52.3) iBT Complete Practice Test 64名 (最高103 平均48.8)		GTEC for STUDENTS 8名	AA	AA		AA
生野	①イングリッシュキャンプ ②オーストラリア語学研修、オーストラリア姉妹校生来校(ホームステイ)	③TOEFL iBT チャレンジ講座 ④英語検定全員受験(1年準2級・2年2級) ⑤SSH成果発表会英語オール発表	裏面記載 2級137名 準2級271名 (646名)		iBT Complete Practice Test 78名 (最高67 平均50)			AA	AA		AA
三国丘	①SGH事業の実施 ②SETによる4技能統合型授業の実施 ③TOEFLチャレンジの受験 ④GTECの受験	⑤海外研修の実施 ⑥海外の高校生との交流 ⑦英語による課題研究発表	裏面記載 1級2名 準1級12名 2級52名 準2級27名 (126名)		iBT 6名(最高93 平均83) iBT Complete Practice Test 55名 (最高100 平均35)		GTEC for STUDENTS 360名 GTEC Speaking Test 359名	AA	AA	AA	AA
岸和田	①実用英語技能検定 校内受験 1年文理学科全員受験 ②TOEFL iBT チャレンジ講習 ③GTECの希望者受験 ④World Café ⑤グローバルリーダー養成プログラム校内版 ⑥グローバルリーダー養成プログラムカリフォルニア大学パークレー校版 ⑦イマージョンプログラムイン豪州	⑧ドイツの高校と相互交流(リンガフランク) ⑨台湾姉妹校と相互交流(リンガフランク) ⑩海外の高校生の受入英語授業の一環として ⑪センター対策リスニング講座 ⑫英語による姉妹校とのSSH鳥類協働調査と成果発表 ⑬多読の授業へ取り入れ ⑭サイエンス カフェ イン グリッシュ ⑮インドネシア・東ジャワ州高校生との相互交流	裏面記載 2級66名 準2級166名 (299名)		iBT Complete Practice Test 59名 (最高80 平均40.9)		GTEC for STUDENTS 3名	AA	AA		AA

英語運用能力を育成する取組（参考）

学校	独自取組	
	主な取組	取組概要
北野	<ul style="list-style-type: none"> ①「授業を変える」取組の充実 ②英語による講演・大学院留学生との交流会実施 ③「学内留学講座」の実施 ④SETによる独自教材の作成と活用 ⑤海外でのフィールドワークの実施（ハワイ研修、シアトル研修、シンガポール研修、台湾研修） ⑥アジア出身の講師によるTOEFL講座（年7回）の実施 ⑦TOEFL iBT Practice Test 実施 ⑧即興型ディバートの実践 	<ul style="list-style-type: none"> ①1・2年生の授業で電子黒板を活用したり、授業の一部でSETと独自教材の活用により授業をすべて英語で実施するなど、「授業を変える」取組が充実している。 ②松本道弘氏の講演（1年生対象）、「EJがあなたの学校にやってくる」（学内留学選択者+希望者 計約200名）の英語による講演の他、課題研究の授業でのべ19名の留学生と交流する機会を持った。 ③民間教育機関を活用した「学内留学講座」（教育学35名、ビジネス学36名、心理学36名、天文学36名、環境学34名）を4回実施し、H26年度は44名から、H27年度は129名 H28年度は168名、H29年度は177名と参加者の人数が伸びている。 ④SETによる独自教材を活用し、表現する機会、聴く機会、読む機会、話す機会を増やした。 ⑤海外研修については、ハワイ語学研修32名、シンガポール研修44名、アメリカ合衆国ワシントン州セント地区交流4名、台湾研修22名の4つの研修を実施した。 ⑥アジア出身の講師によるTOEFLセミナーを7回実施し、189名が参加。 ⑦TOEFL iBT Practice Test を実施し79名が受けた。 ⑧8月に本校六稜ホールにて関西の6校（堀川・膳所・彦根東・奈良・神戸・北野）の交流大会を実施し、代表1チームが全国大会に出場した。
豊中	<ul style="list-style-type: none"> ①TOEFLコース ②豊高グローバルスタディーズ ③スーパーグローバルセミナー ④英語リスニング講座 ⑤GTEC for Students受験 ⑥TOEFL iBT チャレンジ受験 ⑦英国語学研修旅行 ⑧日本文化プレゼンテーション指導 ⑨大阪大学・立命館大学留学生交流 ⑩シンガポールカトリック高校交流 ⑪マレーシア人留学生との交流 ⑫国内留学プログラム成果発表 ⑬英語スピーチ指導 ⑭その他海外研修 	<ul style="list-style-type: none"> ①全学年文理学科240名対象に、TOEFL仕様（4技能統合型）の授業を行った（2単位）。 ②1・2年生の希望者（24名）を対象に、火・木の放課後、即興型英語ディベート、スピーキング練習、英語プレゼンテーション練習を行った。外部プログラムも積極的に参加し、ディベート全国大会にも出場した。英語パフォーマンス甲子圖でグランプリを獲得した。2年生は、英検準1級に3名合格。 ③1・2年生の希望者（74名）を対象に、土曜の午前中、即興型英語ディベートを行った。 ④1～3年生の希望者（108名）を対象に、土曜の午前中、代々木ゼミナールの映像講座を実施した。 ⑤全学年の生徒が受験した。 ⑥1年生81名と3年生80名のTOEFLコース生161名が受験した。操作ミス・機器不具合等で4技能全てのスコアが出ていない90名のスコアは含まれていないため、ここでは4技能のスコアが出ている71名が報告対象となっている。 ⑦1年生の希望者（39名）が参加、イギリスのバースにて語学研修プログラムを13日間実施。全員ホームステイ。 ⑧7のプログラム先で行う日本文化紹介の指導、NETによる台本添削、スピーチ指導。 ⑨1年生全員対象に、大阪大学から49名、立命館大学から12名の留学生と交流を行った。文理学科は課題研究内で、普通科はLHRにて行った。 ⑩1・2年生から希望者を30名程度募り、ハワイ（世話役）として相手校30名と交流を行った。相手校の生徒は授業にも参加した。 ⑪マレーシアのイスラーム大学の学生約30名と交流を行った。対象は⑫の生徒と⑬に参加した生徒。 ⑫1・2年生の希望者（15名）を対象に昨年度実施した国内留学プログラムの成果発表を全校生徒に向けて行った。 ⑬豊中サンマテオ高校生スピーチコンテスト指導。6名参加。6名とも予選突破。 ⑭SSHやSGHの取り組みで、シンガポール、インドネシアにて課題研究による海外研修を行った。
茨木	<ul style="list-style-type: none"> ①TOEFL iBT Complete Practice Test 実施 ②ディベートを取り入れた英語授業 ③海外修学旅行の取り組み ④大阪大学等留学生との交流 ⑤海外の高校生との交流 ⑥「イマージョンプログラム」の実施 ⑦長期留学生の受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ①事前の取り組みとして1年TOEFL Reading とTOEFL Writing、2年EiAの授業でTOEFLの全般的な授業をSETが行う。 ②保健の授業でのディベートの経験を土台にして、2年「英語表現」授業にて、「大学教育の無償化」「ロボットの是非」のテーマでディベートを実施。論理的・批判的の思考力を鍛える。 ③・4大阪大学留学生57名を招き、本校1年生全員が8～9人の生徒に留学生1人という小グループでのディスカッションを行う。 また、別の日に世界の屋台体験として、来年の修学旅行先のフィリピンの料理を調理、会食、文化交流を行う。 ⑥セントポール高校（香港）・Assalaam Islamic Senior High Boarding School(インドネシア)より来校、文化交流・ディスカッション等を実施。 ⑥1年生は、冬休み2日間、春休み2日間の4日間、ネイティブ講師による少人数英語漬けプログラム。117名参加し、冬・春休み共通でTOEFL問題を題材にプレゼンテーションスキルの向上を目指した演習を行う。 2年生は、冬休み2日、春休み2日の4日間。29名参加、冬休みはディベートに、春休みはTOEFLの演習に重点を置いたプログラムを実施。 ⑦4月～2月中旬まで約1年間、フィンランドからの留学生を受け入れ、修学旅行にも一緒に参加した。
大手前	<ul style="list-style-type: none"> ①チャレンジTOEFLiBT ②Focus TOEFL（土曜授業） ③ English Camp ④シンガポール語学研修 ⑤オーストラリア海外研修 ⑥英国交流 ⑦英国ケンブリッジ研修 	<ul style="list-style-type: none"> ①1月に2日間、3月に2日間。TOEFLIBTSスコア向上をめざした集中講義。60名参加。 ②土曜授業として、単位認定。SETによる特別授業（2単位）、1年30人1年30人が単位認定。 ③3月上旬に3日間、大学院生と講義したり、外部講師を招いて語学力を強化した。60名参加。 ④現地調査・ホームステイを行うのみならず、ネイティブ指導者から英語プレゼン発表スキルを学ぶ。60名参加。報告発表会を英語で行う。 ⑤大学や研修施設で英語での講演・説明・講義を受け、現地の高校生と共同実験・研究交流をした。30名参加。 ⑥英国ウェールズ・ペングラス校との交流。12名の生徒・教員で渡航し、文化交流を深めた。12日間実施。 ⑦英国ケンブリッジで数学を研究するとともに、プレゼンなどで語学力も高めた。9名参加。
四條畷	<ul style="list-style-type: none"> ①TOEFLiBTチャレンジ講座 ②TOEFLiBTプラクティステスト受験 ③国際交流キャンプ ④英語コミュニケーション集中講座 ⑤オーストラリア研修 	<ul style="list-style-type: none"> ①全11回、前後期併せて80名が公募により受講した。外部ネイティブ&日本人講師による、TOEFLiBT受験を想定した実践的な英語講座を展開。 ②3年生62名および、希望者2年2名、1年5名を対象に実施。 ③関西外国語大学の留学生約20名と本校生徒30名が参加。終日英語のみを使い課題解決活動を実施した。 ④学習合同に外部ネイティブ講師を招き、10人1グループで英語コミュニケーション集中講座を展開。 ⑤本校生徒20名が13間の日程でオーストラリア・バンダーバークにて各家庭に1名ずつホームステイ、滞在中は現地の高校に通い英語で授業を学んだ。
高津	<ul style="list-style-type: none"> ①「英語コミュニケーション集中講座」の実施 ②外部英語検定試験の受験 ③SSH事業における英語での研究発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・「英語コミュニケーション講座（KITEC）」において、1年生全員への基本コースと希望者による発展コースを設け、4～8人のグループに対して1人のいない5講師からのレッスンを1日受講することにより、ディスカッションやプレゼンテーション能力の向上を目標として実施した。 ・ニューゼalandでの語学研修を実施し、現地校での授業を受けホームステイをすることで英語力を向上させることができた。 ・AEコースの155名がTOEFLiBTチャレンジを受け、目標のレベルに到達することができた。また、1・2年生全員がGTECを受験し、多くの生徒が英検を受験することで英語学習に対する意欲を高めることができた。 ・SSH重点事業において台湾の高校との交流を行い、英語での議論や研究発表を行った。
天王寺	<ul style="list-style-type: none"> ①1～3年生文理学科でTOEFL授業 ②Road to GL(国内留学) ③海外研修(英国・台湾・豪州) ④天高アカデミアにおける英語による講義 ⑤第11回全日本高校模範国連大会参加 ⑥サイエンスイングリッシュ ⑦資格試験受験会場実施：実用英語技能検定 ⑧フューチャークロバーハルリーダーズキャンプ参加 ⑨海外から高校生を迎えての交流 ⑩AIU米岡高校生国際交流プログラム 	<ul style="list-style-type: none"> ①全学年において英語表現の授業内でTOEFLiBTの受験に向けて四技能習得を目指したSETの授業（年間35回）を実施 ②ネイティブ講師（8名）による5日間の英語プレゼンテーションやディスカッション、ディベート講習。本校生99名参加。 ③ケンブリッジ大学（3名）、台湾修学旅行（2年生全員）、シンガポール・ブルネイ・研修（24名）、SSH台湾研修（15名）、豪州、ホランドパーク高校（6名） ④奈良県立医科大学、ヒースポート役員、関西大学からのネイティブまたは日本人講師による英語を用いた講義を3回実施。 ⑤2名参加。予選を通過し、全国大会へ出場。 ⑥文理学科360名全員が理科（物理、化学、生物）の各科目のトピックを選択し英訳し、各班10分のプレゼンテーションと質疑応答を英語で行った。 ⑦実用英語技能検定2級28名受験24名合格(第3回を準会場として実施) ⑧8月に大阪大学法学部公共政策学部による高大連携講習会に4名参加。英語による国際問題についての講義を受けて他校生と講義を行なった。 ⑨4月台湾国立武陵高級中学・5月台北第一女子高級中学との交流。7月英国タンリングラマースクール・12月豪州ホランドパーク高校からホームステイ受入れ。 ⑩AIU米岡高校生国際交流プログラム国内受け入れ。7月28日に本校から4名参加。
生野	<ul style="list-style-type: none"> ①イングリッシュキャンプ ②オーストラリア語学研修、オーストラリア姉妹校生来校（ホームステイ） ③TOEFL iBT チャレンジ講座 ④英語検定全員受検（1年準2級・2年2級） ⑤SSH成果発表会英語オーラル発表 	<ul style="list-style-type: none"> ①1年生全員を対象に、6月最終週に集中講義形式で、生徒14名につき一人のネイティブ教員が付き、英語によるディベートやキャリアプランプレゼンテーションを行った。 ②豪州プリズベンで一人ずつホームステイを行い、FCAC（ルーザー-コスタック リカカッヅ）での英会話レッスン、現地校生徒との交流、エクスカッションによる異文化理解を実施。また、姉妹校である、FCAC（ルーザー-コスタック リカカッヅ）より14名の生徒が来校し、ホームステイをしながら交流を深めた。 ③6月に実施したイングリッシュキャンプ（1年生全員対象）及び8月上旬の海外語学研修（1・2年生）の参加者を中心に、1・2年生を対象にしたTOEFL iBTチャレンジ講座を開講し、英語力のさらなる向上と英語力を活用したコミュニケーション能力の向上並びに異文化理解・多文化共生等を図った。 ⑥SSH探究のアドバンスグループは、英語による研究発表を行い、3月のオーストラリアサイエンスツアーにおいて現地校での研究交流につなげている。
三国丘	<ul style="list-style-type: none"> ①SGH事業の実施 ②SETによる4技能統合型授業の実施 ③TOEFLチャレンジの受験 ④GTECの受験 ⑤海外研修の実施 ⑥海外の高校生との交流 ⑦英語による課題研究発表 	<ul style="list-style-type: none"> ①1年生50名を対象に、平成30年度に実施する米国リーハイ大学での研修に向けた英語でのビジネス講座を半年間実施。 ②1年生全員に4技能統合型の授業を週2コマ、2年生の文系生徒にSETによるスピーキング授業を週1コマ、3年生の選択者にTOEFL授業を週2コマ実施。 ③3年生のTOEFL授業受講生徒、及び1・2年生の希望者を対象にTOEFLチャレンジ（TOEFL iBT Practice Test）を受験。 ④1年生全員がGTEC(4技能型)を受験。 ⑤海外ツアーを4種実施 <ul style="list-style-type: none"> (1)オーストラリア（39名） 夏休みに2週間カンタベリーカレッジにて授業を受けたり、英語研修を行った。 (2)フィリピン（20名） 夏休みに8日間マニラにてアジア開発銀行やGK Farmにて研修を行い、発展途上国の現状を学んだ。 (3)アメリカ（フロリダ）（26名） 夏休みに8日間NASAやフロリダ工科大学で研修を受け、科学技術や研究について学んだ。 (4)香港・マカオ（26名） 春休みに男子バスケットボール部が4日間聖公會蔡功譜中学と浸信高校を訪問し、スポーツ交流を行った。 ⑥韓国・慶山高校より36名（7/11）、オーストラリア・カンタベリーカレッジより13名（9/22）、中国・上海第一高級中学校より15名（10/3）、ブルネイ工科大学2名、マレーシア工科大学2名、王立ブロンベン大学1名（10/4）、シンガポール国立大学2名（12/18）が来校し、授業やクラブ活動などとの交流を実施。また、2年生が修学旅行で台湾を訪問し、羅東高級中学校、師範大学付属高級中学校、新竹高級中学校にて授業への参加など学校交流を行った。 ⑦SGH・SSHの授業を受けてきた3年生の生徒が、これまでの研究成果を留学生（日本語教育センター）に英語で発表した。
岸和田	<ul style="list-style-type: none"> ①実用英語技能検定 校内受検 1年文理学科全員受検 ②TOEFL iBT チャレンジ講習 ③GTECの希望者受験 ④World Cafe ⑤グローバルリーダー養成プログラム校内版 ⑥グローバルリーダー養成プログラムカリフォルニア大学バークレー校版 ⑦イマージョンプログラムイン豪州 ⑧ドイツの高校と相互交流（リンガフランカ） ⑨台湾姉妹校と相互交流（リンガフランカ） ⑩海外の高校生との受入英語授業の一環として ⑪センター対策リスニング講座 ⑫英語による姉妹校とのSSH鳥類協働調査と成果発表 ⑬多読の授業へ取り入れ ⑭サイエンス カフェ イン イングリッシュ ⑮インドネシア・東ジャワ州高校生との相互交流 	<ul style="list-style-type: none"> ①長年、近隣中学生も参加する校内での英検を年間3回実施。1年生文理学科は全員受検、他希望者対象。一次試験合格者には、二次試験の面接練習指導を行った。 ②は、1・2年生を対象にした特別講習で、外部講師からTOEFL iBTの試験をたくコツを指導してもらった。また、講習の前と後にPractice Test を実施し後、本試験を実施。 ③今年度希望者にGTECを実施。次年度1年は全員受検 ④聞く話すを鍛える講座を3行い 講師が希望者に放課後実施。 ⑤6高校生5～6に1人の海外大学生がファシリテーターになり英語で議論を行い英語で発表する集中研修。校内（38名）とカリフォルニア大学（9名）の2回実施。同時に失敗を恐れず、チャレンジするマインドも育成。参加をきっかけに米国大学に合格した生徒もいる。 ⑦豪州の高校での研修。パティと同じ授業を7日間体験する。ホームスティも1人1家族で英語漬けの11日間で4技能の育成を行う。（31名） ⑧ドイツでホームスティとパティとの高校の授業参加、英語での交流。（10名） ⑨台湾姉妹校は、生徒全員（360名）がパティとの英語交流を年2回。 ⑩海外から訪問団（5回/年）は1年生2年生の英語の授業の一環として実施、実践的な英語を使う機会として活用 ⑪外部講師による対策講座（80名） ⑫SSH事業の国際的な活動 英語を媒体として、研究調査発表を行う（10名） ⑬4技能の「読み」に関する活動を1年2年の英語授業、3年の選択授業で定期的に実施 ⑭京都大学外国人准教授を招いて、講演や質疑応答を行う（18名） ⑮8月に東ジャワ州へ本校生3名を派遣し、現地にて英語で交流やプレゼンテーションを実施。11月に東ジャワ州より本校へ受入を行い、英語で交流を実施。